

『「協働」は一日にしては成らず』
～対話から見出したこれからの協働のかたち

まずは身内の中で理解を深めることも大事ですね



福知山公立大学地域経営学部
谷口知弘先生

一人から始まった”志”や“活動”に
賛同者やフォロワーができると広がりつながる

- パートナー探し、良い出会いは相手をしっかり知ること。
 - 課題を共有した上で、じっくり時間をかけて目標やビジョンを共有しよう。
 - 得意と苦手を補い合う工夫を。
 - トラブルはおこるものと受け止め、立ち止まって向き合ってみる。
 - 友だちや知り合いつながりを大切に、でも無理はしない、 など・・・
-

協働ってどう進め
たらいいんだろう

指針に盛り込むべき事項（重点的に推進すべき事項）

対話：これからの協働のかたちって？



持続可能な地域運営

人が人を呼ぶ取り組み、横つながりも強化

つばやきを拾って、活動の工夫・発想の転換！

楽しみながら自由な活動の中に収益活動を！

理解を深める「対話」の場づくりがとても重要

「助けて」「困っている」が言える空気をつくる

まず、デジタルを使った交流等で身近な存在に

地域に眠っている人材が活躍できることが大事

SNS活用で業務改善、映像保存で業務継承



対話と協働



支え合い



地域社会のデジタル化

など...